

日本共産党 和歌山市公議員

# ひめだ高田ニュース

NO.890

11.12.14

## 12月定例会市議会報告

今年も残すところあとわずかとなりました。12月定例会市議会も最終日だけです。本号では、日本共産党市議団の一般質問について報告します。

### ワクチン接種費用助成事業

12月2日(金)日本共産党の松坂みち子市議は、今年度実施されたヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、多宮頸がん予防ワクチンの接種費用助成事業について、一般質問しました。松坂市議は接種状況を聞くとともに、この水らのワクチン



### 中学校給食の中身が大切

12月2日(金)日本共産党の森下さち子市議は、中学校給食について一般質問しました。中学校給食の実施について和歌山市教育委員

会は、希望する生徒を対象に業者から弁当を届けるデリバリー方式を来年10月をめどに6校、14年度までに全校で実施する意向を表明

が今年度末でいったん終了し、継続が不透明なことから、市に対し国に継続を求めたことを要請しました。また、たとえ国の補助がなくなったとしても、市として助成事業を継続するよう提案しました。

松坂市議のこの提案に対し健康福祉局長は「機会あるごとに国へ要望する。来年度以降も継続するよう取り組む」と答弁しました。

明しました。

森下市議は、中学校給食

こんにちは  
日本共産党の  
**ふじい健太郎**  
です。  
(その314)

送る。ホール(1基250万円)で4基ある)も見えました。

道成寺は県内で最も古い古刹で、安珍清姫の悲恋物語が有名ですが、その説法はなかなかのもの

でした。「道成寺縁起」は室町時代に完成し国の重要文化財にも指定されています。また、数多くの見事な仏像も必見です。

中野BC(バイオケミカル・クリエーション)では、県内の酒蔵が減り続ける中で、県内産梅で焼酎をつくるなどの取組

もわかりました。和歌山再発見のツアー

とな。たノ日でした。



ふじい健太郎 前県議員

「稲村の火の館」は旧濱口家の敷地内に県が建設し広川町が運営している施設で、3Dの津波映像シアターや地震防災体験コーナーなど体感的に学べる内容となっています。広川町が独自に設置した、震度4以上の揺れを感じると避難を自動放

の実施を求めてきた保護者や関係者の声に添えたことを評価しつつも、問題はその中身だとして、温かいものをやめたいもの、汁物などを適温で提供できないデリー

# 産業廃棄物減量化の指導を

12月5日(月)日本共産党の渡辺忠広市議は、産業廃棄物について一般質問をしました。渡辺市議は、読売新聞が「大阪湾の管理型処分場」フェニックスがぬと

バリー方式を批判し、保護者などの意見をよく聞き、小学校の給食室で中学校の分も調理する親子方式や自校方式の可能性も探るべきだと提案しました。

3年で満杯になると報じ、産廃事業者がこれを根拠に和歌山市に巨大最終処分場を計画している問題で事実関係を質しました。この質問に対し市民環境局長は、「コフ

エニックスは21(平成33)年までの事業計画で推移している」と答弁し、産廃建設の理由にしている根拠がなということも明らかになりました。

# 巨大産廃処分場許可するな

12月6日(火)日本共産党の南畑さち代市議は、山口地区の滝畑に計画されている民間の産業廃棄物最終処分場について一般質問を

渡辺市議はまた、住友金属など廃棄物多量排出事業者に対し、市として減量計画や資源の再利用計画の作成を指導すべきだと提案しました。

の規模は18ヘクタール290万立米というのは、中核市の中でどの辺に位置するものかとの質問に、当局は面積では2番め、容量では1

番となり、政令市を加えても面積・容量とも2番めに落ちると答弁。南畑市議は、和歌山木で排出する安定5品目の58年分にもあたる巨大処分場が今、和歌山市に必要なのかと、市長に建設反対を求めました。

南畑議員は、この計画について、住民や岩出市など周辺自治体が説明や説明会を求めていることへの対応を質しました。

# こんにちは 日本共産党



先月30日の当ニュース「伊達市見聞録」で紹介されていた「あんぽ柿」についての余話です。原発事故の影響で加工自粛・出荷停止とされていた

生産者のみなさんが東京電力と交渉し、全面賠償と年内の支払いが約束されたそうです。

今回の件はうれしいニュースです。しかし、全般的には東電も政府も、賠償や除染についてはできるだけ少なくすませようという姿勢も感じざるをえません。福島県内の避難者はいま

なお15万人を超え、5万8千人は福島県を離れての避難生活です。自主的に避難した人への賠償などもふくめて、原発被害にあつたすべての人々の生活と経営、健康を守る政治が必要ですよ。



あけひろ 秀明 (衆院区)

# 相談村でおいしい豚汁食べべタ

12月11日(日)西の丸広場で第4回「生きるためのなんでも相談村」が開かれ、共産党市議団も相談ボランティアとして参加。私、ひ

めたも初参加で生活苦と国民料金の分割納付の2件の相談を受けました。新報に載った写真は、私の方が相談しているように見えました。

# 「急行」なのに、各停

伊達市見聞録 その4

和歌山からJRを乗り継いで福島市まで行きは6時間、帰りは7時間かかりました。あべの美子党員議の事務所がある保原で借りて

いたバイクを返して、東北新幹線で東京まで行くのに福島駅まで阿武隈急行に乗りました。名前は「急行」ですが各駅停車の私鉄です。